



## 女性の感性を社会の力に 「一隅を照らす」精神で未来を創る

P&Cプランニング株式会社 代表取締役 上田 あい子氏

【プロフィール】  
福岡県出身。大学卒業後、福岡のテレビ局に入社し、プロデューサーとして人気番組を制作。2007年に独立し、P&Cプランニング(株)を設立した。NPO法人ウィッグリング・ジャパン代表理事も兼任。

### テレビの制作現場から独立し 個人の経験を価値に転換

テレビ制作の現場で、数々の人気番組を手掛けてきたプロデューサー・上田あい子さん。社員として働き、出産・育児を経験しましたが、当時は産休・育休制度がまだ十分に整っておらず、「自分の席がなくなるのでは」という焦りから、産後わずか4ヶ月で現場に復帰せざるを得ませんでした。仕事と子育ての両立に悩む中、「女性が本音で情報交換できる場」が必要だと痛感し、異業種の友人や学生とともに、女性コミュニティ「チアーズ」を発足。保育園選びやアレルギー対応など、生活に密着した知恵を共有し合える場として、多くの女性が一人で抱える悩みを解消してきました。

しかし、多忙を極める30代。上田さんは、体調不良をきっかけに受診した病院で、脳動脈瘤や膠原病の診断を受けます。自分の病気と向き合いながら働くうちに、仕事と家庭を切り離して考える「ワークライフバランス」に限界を感じ、仕事と生活の時間をあわせて一つの人生として捉える「ワークライフミックス」に辿り着きました。そして、その生き方を自ら実践するロールモデルになりたいという思いから2007年に起業。女性の感性が商品開発やまちづくりには不可欠であると確信し、女性向け集客企画やメディアPRマーケティングを行うP&Cプランニング(株)を設立しました。「ベビーカーを押して初めて気づいた街の小さな段差、エレベーターの配置など、母親だからこそ見える視点がビジネスに活かせると思いました」と上田さんは振り返ります。

### 事業を発展させながら 社会貢献にも協力

ビジネスが軌道に乗ると、上田さんは社会貢献活動にも取り組みはじめます。原点となったのはチアーズの仲間から寄せられたがんについての相談でした。「女性は、月経や妊娠・出産、更年期など、ライフステージごとにさまざまな健康課題を抱えます。しかし、がんになる可能性については、当時の私は十分に認識できていませんでした。」若くしてがんに罹患し、治療費や抗がん剤による脱毛などの外見の変化に悩む女性たちの姿を目の当たりにした上田さん。家庭で眠っていた高価なウィッグ(かつら)を寄付として集め、必要とする方へ安価で提供する「医療用リユースウィッグ」の活動を2010年に開始。翌2011年



1 ウィッグリング・ジャパンが取り組むユースウィッグ。一つひとつ手作業で仕分けと管理を行い、利用者に似合うウィッグを提供している。

2 女性のココロとカラダの健康、豊かな生活を応援するというコンセプトで、ヘアエッセンスや無添加の水性ネイルなどの商品も開発している。

3 女性のさまざまな悩みや企業の課題解決をサポートするため、各種講演会、社内研修などにも精力的に取り組んでいる上田さん。

4 女性の自立・健康・QOLを支える医療情報メディアを運営。ウェブサイトやSNSだけではなく、定期刊行物としても広く情報発信を続けている。(https://cheers-beauty.jp/)

にはNPO法人ウィッグリング・ジャパンを設立します。メディアでの報道を機に、全国から温かい手紙とともに約1万個のウィッグが届き、これまでに延べ3,000名を超える女性たちの自信回復と笑顔をサポートしてきました。

また、テレビプロデューサーとして医療番組を制作してきた経験から、医療関係者とのネットワークや正しい医療情報の選び方といった高度な知見を活用し、女性のための医療情報メディア『チアーズビューティー』を展開しています。さらに、会社員時代に産業医や保健師に救われた自身の経験を基に、企業の従業員がオンラインで看護師やカウンセラーに相談できる「社外保健室」という福利厚生事業もスタート。健康経営を重視する企業に福利厚生サービスとして採用されています。上田さんは「病気や育児、介護といった個人的な悩みを抱える人々が社会から孤立せず、安心して働き続けられる社会のインフラを整備していきたい」と話します。

### 「一隅を照らす」精神で 未来に希望を持てる豊かな社会を

上田さんが経営の根幹に据えている

のは、天台宗の開祖・最澄の言葉でもある「一隅(いちぐう)を照らす」という精神です。「ろうそくの光を分け与えても元の輝きが減らないように、相手の長所を認め、笑顔や優しい言葉をまず自分から惜しみなく提供すること」を心がけているといいます。数字や結果だけを追うのではなく、今の自分が誰かのためにできる“種まき”を大切に、心を込めて育てる姿勢こそが、信頼関係という最大の財産を築くと信じています。また、ないものを嘆くのではなく、今ある健康や環境に感謝する“良かった探し”を実践することは、困難な状況でもポジティブな選択肢を見つけ出す力になるといいます。

「子どもたちが大人になりたいと思えるような希望のある社会を作りたい」。上田さんはその想いを胸に、自らが多様な経験を持つロールモデルとなり、学生と社会人を繋ぐシンポジウムや交流の場も積極的に提供しています。「魅力的な大人との出会いが、若い世代の視野を広げ、人生を主体的・前向きに歩む力になると考えています」と上田さんは語ります。

人と情報、そして多様なライフステージでの経験をシームレスに繋いでいく

ことで、個人のQOL(生活の質)を高め、誰もが自分らしく輝ける共生社会を目指す上田さん。「チアーズビューティー」をはじめとした事業で「医療機関や企業など日本各地のパートナーを見つけて情報を共有し、一人一人が輝ける機会を提供していきたい」といいます。

福岡から全国へ、そして次世代へと繋がる上田さんの挑戦的な歩み。これからも引き続き一隅を照らす精神を胸に、多くの人々の心に希望の光を灯し続けるのでしょう。

取材日：2月4日



P&Cプランニング株式会社

〒810-0001  
福岡市中央区天神2-3-10  
天神バインクレスト923号  
TEL.092-725-6623  
https://www.8p-ch.com/

